

2023

九州歯科大学 大学院歯学研究科

入学案内

(歯学専攻・口腔保健学専攻)

博士課程・修士課程

(社会人特別選抜を含む)



公立大学法人

九州歯科大学

歯学専攻

カリキュラム・ポリシー（このような教育を行います）

- 1 医療・研究倫理、生命科学及び関連領域に関する知識を習得するための教育課程を編成し提供する
- 2 科学的根拠に基づいた論理的な思考を展開する能力を養成する教育課程を編成し提供する
- 3 口腔のみならず全身の健康という視点に立ち、自立した研究活動を遂行する能力を醸成する教育課程を編成し提供する
- 4 地域性を活かし先進的な歯科臨床及び研究に資する医歯工学連携講義・演習を編成し提供する
- 5 多職種と連携した研究を推進する能力を養成するために、連携大学及び医療機関における講義・演習を編成し提供する
- 6 国際的視野を醸成するための教育課程を編成し、国際学会の参加の機会を提供する

ディプロマ・ポリシー（このような人材を育てます）

- 1 生命科学に関する幅広い知識を習得し、自らが主体的に研究を遂行できる総合的能力が備わっていること
- 2 専門的医療人として、科学的根拠に基づいて論理的な思考を展開する能力を有し、先駆的医療の発展に貢献する能力が備わっていること
- 3 生涯にわたり研鑽し、全身の健康という視点に立った口腔領域の研究を先端的・独創的に推進する能力が備わっていること
- 4 学際領域の学問分野と協働し地域社会と連携した研究を展開し、地域社会の発展に寄与する能力が備わっていること
- 5 多職種と連携した歯科保健医療活動を通して、社会貢献する能力が備わっていること
- 6 海外の研究者との積極的な情報交換を行い、国際社会へ研究成果を発信できる能力が備わっていること

口腔保健学専攻

カリキュラム・ポリシー（このような教育を行います）

- 1 医療・研究倫理観の醸成、生命科学及び関連領域に関する包括的知識の修得、地域包括ケアの実践につながる講義・演習を編成し提供する
- 2 先進的口腔保健学、生命科学、栄養学及び臨床研究に関する講義・演習を編成し提供する
- 3 科学的根拠に基づいた医療行政、歯科保健福祉活動に関する講義・演習を編成し提供する
- 4 医・歯・工・看護学などと協働して、全ての世代の口腔と全身の健康に係る研究展開につながる講義・演習を編成し提供する
- 5 多職種連携教育を通じて、幅広い専門研究展開につながる講義・演習を展開する
- 6 国際的視野を醸成するため、英語で研究発表するなど基本的スキルを修得するための講義・演習を編成し提供する

ディプロマ・ポリシー（このような人材を育てます）

- 1 全人的歯科医療を展開する者として幅広い素養を持ち、地域住民に対して歯科保健医療福祉活動を行う総合能力が備わっていること
- 2 専門的医療人として先進的口腔保健活動の発展に貢献する能力が備わっていること
- 3 科学的根拠に基づいた口腔保健活動を実践する能力が備わっていること
- 4 全ての世代に対して全身の健康という視点に立った口腔保健活動を行う能力が備わっていること
- 5 多職種と主体的に連携して、口腔保健活動を通じて社会貢献する能力が備わっていること
- 6 国際的な視野に立った口腔保健活動を展開し、国内外に研究成果を発信する能力が備わっていること

1 目的

大学院は、歯学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、歯学医療及び文化の進展に寄与することを目的とする。

2 研究分野及び主な研究内容

出願を希望する者は、志望する研究分野の窓口となる教員（指導責任者）に、出願前に九州歯科大学事務局を通じて問い合わせ、研究内容について説明を受けてください。

九州歯科大学事務局 学務部 学生支援・研究支援課

電話(093)582-1131

E-mail : gakusei@kyu-

dent.ac.jp

(1) 博士課程（歯学専攻）

研究分野	指導責任者	主な研究内容
クリニカル クラクシッ ク 開 発 学	教授 栗野 秀慈	<ul style="list-style-type: none">・クリニカルクラクシッの教育システムに関する研究・歯学臨床教育における臨床能力評価システムに関する研究・包括的歯科診療の実践臨床技能を習得するための教育システムに関する研究・クリニカルクラクシッにおける医療安全管理に関する研究・歯周病予防・治療のための創薬に関する研究・口腔と全身健康に関する研究・患者の心理学的研究・歯学部学生の心理学的研究
総合診療学	教授 木尾 哲朗	<ul style="list-style-type: none">・医療行動に関する研究・患者行動と診療システムに関する研究・医療コミュニケーションに関する研究・プロフェッショナリズムに関する研究・人的・物的シミュレーションに関する研究・歯科医学教育に関する研究・総合診療に関する研究
口腔保存治療学	教授 北村 知昭	<ul style="list-style-type: none">・歯・根尖歯周組織の病態と再生・新しい歯内治療法の開発・生体材料・歯学教育システム
歯周病学	教授 中島 啓介	<ul style="list-style-type: none">・歯周基本治療に対する患者の応答性・歯周ポケット形成メカニズム・咬合性外傷の歯周組織破壊への影響・歯周病が全身へ及ぼす影響・歯周病診断装置の研究開発

顎口腔欠損再構築学	未定 事務局に お問い合わせ ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・閉塞型睡眠時無呼吸症候群の口腔内装置に有効な下顎位及び姿勢位の検討 ・磁性アタッチメントの臨床的評価 ・顎関節症患者のスプリント療法が脳機能に及ぼす影響 ・習慣性咀嚼が顎運動に及ぼす影響 ・全部床義歯の維持・安定に関する研究
口腔再建 リハビリテーション学	教授 細川 隆司	<ul style="list-style-type: none"> ・即時機能インプラント治療に関する研究 ・口腔乾燥症と唾液腺の生理学的機能に関する研究 ・インプラント治療のリスクファクターに関する研究 ・パラファンクションの診断と治療に関する研究 ・口腔関連QOLの評価に関する研究
生体材料学	未定 事務局に お問い合わせ ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規CAD/CAM材料の開発 ・新規インプラント材料の開発 ・各種歯科材料の接着と理論の解明 ・人工エナメル質と人工象牙質の創製 ・歯科器材への抗菌性付与 ・電解水の歯科への応用 ・新規接着前処理装置の開発
解剖学	教授 瀬田 祐司	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の発生の分子機構 ・口唇口蓋裂の発症メカニズムの解明 ・哺乳動物の味蕾における情報伝達 ・味蕾の発生生物学的ならびに味覚受容機構の分子生物学 ・口腔感覚（味覚、痛覚等）に関与するATP受容体の発現とATPの役割 ・硬組織ならびに口腔粘膜の超微形態学と細胞生物学
生理学	教授 小野 堅太郎	<ul style="list-style-type: none"> ・唾液分泌機構 ・口腔乾燥症の病態と治療薬 ・口渇中枢の神経生理機構 ・口腔顔面痛の神経機構 ・口内炎の病態生理学と疼痛緩和薬 ・摂食嚥下機構
分子情報生化学	教授 古株 彰一郎	<ul style="list-style-type: none"> ・骨・骨格筋代謝機構 ・間葉系幹細胞の運命決定機構 ・全身に発現する味覚受容体の機能 ・悪性黒色腫の増殖機構
口腔病態病理学	教授 松尾 拓	<ul style="list-style-type: none"> ・前がん病変の診断精度向上を目指す臨床病理学的研究 ・β-thymosinsの機能的解析 ・口腔疾患の病理発生に関する分子病理学的解析

感 染 分 子 生 物 学	教授 有 吉 涉	<ul style="list-style-type: none"> ・糖鎖認識による自然免疫応答や骨・軟骨代謝の調節機構 ・細菌のバイオフィーム形成や薬剤耐性獲得の調節機構 ・口腔細菌と宿主細胞の相互作用 ・口腔感染症に対する新たな診断・治療・予防法の開発 ・3次元培養法の組織再生医療や病態解明モデルへの応用
口 腔 応 用 薬 理 学	教授 竹 内 弘	<ul style="list-style-type: none"> ・創薬の標的となる膜分子の細胞内輸送に関する研究 ・代謝と多臓器ネットワークの調節機構に関する研究 ・新規合成化合物による腫瘍抑制効果と作用機序に関する研究
臨 床 疫 学	教授 角 舘 直 樹	<ul style="list-style-type: none"> ・歯学領域における臨床疫学研究 ・診断、治療効果、予後の評価に関する国際比較研究 ・Evidence-Practice Gapに関する研究
地 域 健 康 開 発 歯 学	教授 安 細 敏 弘	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を対象とした口腔と全身の健康ならびにサルコペニアとの関連に関する疫学研究 ・時間生物学的観点からみた口腔と全身の健康の関連に関する研究 ・細菌学的・疫学的手法を用いたアフリカ・モロッコ王国における侵襲性歯周炎の病因解析 ・頭頸部・上部消化器がん発症予知に係わる呼気中臭気情報に関する研究 ・国際保健活動に関する研究 ・レセプトデータを用いた口腔ケアの効果に関する研究
総 合 内 科 学	教授 福 原 正 代	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を対象とした口腔と全身の健康との関連に関する疫学研究
口 腔 機 能 発 達 学	未定 事務局に お問い合わせ ください。	未定 (指導責任者未定のため)
顎 口 腔 機 能 矯 正 学	教授 川 元 龍 夫	<ul style="list-style-type: none"> ・矯正治療による痛みに関する研究 ・矯正的歯の移動時における歯周組織のリモデリングに関する研究 ・神経ペプチドと骨リモデリングに関する研究 ・不正咬合を伴う先天性疾患の原因遺伝子およびその機能に関する研究 ・顎変形症の長期予後に関連する臨床評価
歯 科 放 射 線 学	教授 森 本 泰 宏	<ul style="list-style-type: none"> ・MRIによる顎関節疾患の診断に関する研究 ・MR angiographyによる微細血管描出に関する研究 ・MR sialography の臨床評価に関する研究 ・放射線誘発間期死に関する分子生物学的研究

顎 顔 面 外 科 学	教授 富永 和宏	<ul style="list-style-type: none"> ・電気化学的テロメラーゼ測定による癌の診断システムの開発 ・粘膜疾患診断支援システムの開発 ・テロメアDNAを指標とした新規癌治療薬の開発
口 腔 内 科 学	教授 吉岡 泉	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤関連顎骨壊死の病態解明・新規治療法の確立に関する研究 ・口腔粘膜前癌病変から口腔癌へ発癌メカニズム解明および分子標的治療に関する研究 ・シェーグレン症候群の病態発症メカニズム解明と新規治療法開発に関する研究 ・唾液を用いたB型肝炎の新規診断方法の研究 ・顎変形症の治療に関する基礎的・臨床的研究
歯 科 侵 襲 制 御 学	教授 渡邊 誠之	<ul style="list-style-type: none"> ・神経障害性疼痛による神経伝導への修飾に関する基礎研究 ・静脈麻酔時のネーザルハイフローの上気道確保に関する臨床研究 ・静脈麻酔時の呼吸量推測のための肺エコー応用に関する臨床研究 ・超音波ガイド下末梢挿入型中心静脈路に関する臨床研究 ・気管挿管チューブカフ上吸引の気管内貯留液及び細菌数に関する臨床研究
老 年 障 害 者 歯 科 学	未定 事務局に お問い合わせ ください。	未定 (指導責任者未定のため)
外 科 学	教授 中島 秀彰	<ul style="list-style-type: none"> ・抗癌剤耐性機構の解明に関する研究 ・薬剤感受性増強に関する研究 ・鏡視下手術手技のトレーニングとVRシミュレータに関する研究
口 腔 健 康 学	教授 藤井 航	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科保健医療制度に関する研究 ・アディポカインの免疫学的機能の解明 ・LPSと糖尿病による動脈硬化の機序の解明 ・メンテナンス・SPT患者の食習慣について ・高齢者・有病者における口腔機能と全身状態の関連 ・歯科衛生士のための国際的教育に関する研究 ・摂食嚥下障害に対するリハビリテーションに関する研究

<p>健康推進学</p>	<p>大学院研究科長 事務局に お問い合わせ ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚刺激に誘導される方向選択性舌運動課題遂行による前頭前野の活動 ・ 大学における初年次教育の充実に関する研究 ・ 歯科保健医療行政に関する研究 ・ 医療保険制度及び介護保険制度に関する研究 ・ 産業歯科保健制度に関する研究
--------------	---	--

(2) 修士課程（口腔保健学専攻）

指導教員
口腔保健学専攻： 秋房 住郎、 中道 敦子、 園木 一男、 藤井 航、 邵 仁浩
主な研究内容
<ul style="list-style-type: none">●保健所、市町村保健センター、学校、事業所等の地域歯科保健の現場や病院、高齢者施設等で歯科疾患や歯科保健管理の実態を把握し、地域の歯科保健上の健康課題を明らかにするための研究●生涯を通じた口腔健康管理を目的とした歯科衛生活動に関する実践的研究●メタボリックシンドロームなどのエネルギー代謝異常状態における免疫応答の変化について、特に各種アディポカインが免疫細胞に与える影響を、細胞分子生物学的手法および疫学的手法を用いた研究●歯周病や残存歯数、咀嚼能などの口腔内の状況と動脈硬化や糖尿病などの全身の状況との関係を解明するため、地域住民の歯科・内科検診データベースを使った疫学研究や臨床および基礎研究(※)●口腔機能の向上および摂食・嚥下リハビリテーションについて、様々なフィールド・ライフステージ・ライフスタイルに応じた臨床学的な実践研究(※)●食べる機能の発達・維持・回復、齲蝕予防、摂食・嚥下障害や要介護の原因となる生活習慣病の予防、口腔のトラブルによって起こりうる低栄養の防止など歯・口と全身の健康を保つために必要と思われる分子生物学的手法を用いた基礎研究と疫学的手法を用いた臨床または疫学的調査研究●急性期・回復期・維持期の口腔管理に必要な思考過程と多職種連携に関する調査研究(※)●口腔保健に関連した患者報告型アウトカムに関する研究●人生の最終段階における医療に対する口腔機能管理の介入効果に関する研究(※)

(※) 臨床系研究の履修に際しては、医療行為を伴うため医療系資格（歯科医師、歯科衛生士、看護師等）を必要とします。